



頭付きスタッド

JIS B 1198 : 2011

(JSSC/JSA)

平成 23 年 2 月 21 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本工業標準調査会標準部会 機械要素技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	高 増 潔	東京大学
(委員)	相 羽 繁 生	株式会社東郷製作所
	石 丸 尋 士	社団法人自動車技術会
	市 川 直 樹	独立行政法人産業技術総合研究所
	大 橋 宣 俊	日本ねじ研究協会
	高 木 安 廣	NTN 株式会社
	高 辻 利 之	独立行政法人産業技術総合研究所 (東京電機大学)
	田 淵 宏 政	社団法人日本バルブ工業会
	長 江 昭 充	社団法人日本工作機械工業会
	堀 功	日本工具工業会

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：昭和 57.10.15 改正：平成 23.2.21

官 報 公 示：平成 23.2.21

原 案 作 成 者：社団法人日本鋼構造協会

(〒160-0004 東京都新宿区四谷 3-2-1 四谷三菱ビル TEL 03-5919-1535)

財団法人日本規格協会

(〒107-8440 東京都港区赤坂 4-1-24 TEL 03-5770-1571)

審 議 部 会：日本工業標準調査会 標準部会 (部会長 二瓶 好正)

審議専門委員会：機械要素技術専門委員会 (委員長 高増 潔)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 基準認証ユニット産業基盤標準化推進室 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1) にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

目 次

	ページ
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 用語及び定義	1
4 量記号	2
5 種類	2
6 製造ロット番号	2
7 材料	2
8 形状及び寸法	3
9 機械的性質	4
10 外観	4
11 溶接後の性能	4
12 試験	4
12.1 形状及び寸法	4
12.2 機械的性質	6
12.3 外観試験	6
12.4 溶接後の性能試験	6
13 製品の呼び方	6
14 検査	6
14.1 検査の種類及び検査項目	6
14.2 判定基準	7
15 表示	7
15.1 製品の表示	7
15.2 包装の表示	7
附属書 A (規定) スタッドの溶接後の性能及び試験方法	8
解 説	12

まえがき

この規格は、工業標準化法第 14 条によって準用する第 12 条第 1 項の規定に基づき、社団法人日本鋼構造協会（JSSC）及び財団法人日本規格協会（JSA）から、工業標準原案を具して日本工業規格を改正すべきとの申出があり、日本工業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が改正した日本工業規格である。

これによって、**JIS B 1198:1995** は改正され、この規格に置き換えられた。

なお、平成 24 年 2 月 20 日までの間は、工業標準化法第 19 条第 1 項等の関係条項の規定に基づく JIS マーク表示認証において、**JIS B 1198:1995** によることができる。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本工業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

頭付きスタッド

Headed studs

1 適用範囲

この規格は、主として土木構造物及び建築構造物における鋼コンクリート複合構造のずれ止め又は鋼コンクリート合成構造のずれ止めとして使用する鋼製の頭付きスタッド（以下、スタッドという。）の特性について規定する。

2 引用規格

次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

JIS B 7507 ノギス

JIS B 7516 金属製直尺

JIS G 0320 鋼材の溶鋼分析方法

JIS G 3101 一般構造用圧延鋼材

JIS G 3106 溶接構造用圧延鋼材

JIS H 4040 アルミニウム及びアルミニウム合金の棒及び線

JIS Z 2241 金属材料引張試験方法

JIS Z 3145 頭付きスタッド溶接部の曲げ試験方法

3 用語及び定義

この規格で用いる主な用語及び定義は、次による。

3.1

呼び長さ, L

スタッドを溶接した後の長さ。呼び長さ (L) に、3.3 に定義する溶け代 (WA) を加えた長さがスタッドの全長となる（表 3 参照）。

3.2

スタッドベース

スタッドの溶接側の端部。

3.3

溶け代, WA

スタッドを溶接したときに溶融する部分。溶け代 (WA) は、スタッド全長に含まれる（表 3 参照）。